



文部科学省

委託調査

5歳児15,000人を小学校4年生まで追跡調査
幼児期の教育が及ぼす影響を明らかにします！

幼児教育に関する 大規模縦断調査

実施のお知らせ



調査1

2023年冬
5歳児調査



調査2

2024年から5年間
5歳児縦断調査



東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（CEDEP）はこのたび、文部科学省からの委託を受け、「幼児教育に関する大規模縦断調査」を実施します。生涯にわたる心理社会的適応や幸福の基盤となる資質能力を形成する上で、乳幼児期に経験する教育が重要な役割を果たすことが、海外の縦断研究の結果から実証的に明らかになっています。本事業では、日本の社会・文化や制度を踏まえた大規模縦断調査によって、幼児教育がもたらす小学校以降の子どもの発達や学習・生活への影響について実証的に明らかにし、今後の幼児教育政策形成のためのエビデンスを提供することを目指します。



園長・保育者



小学校の先生 (2025年以降)



保護者



The Center for
Early Childhood Development,
Education, and Policy Research

東京大学大学院教育学研究科附属
発達保育実践政策学センター（CEDEP）

調査方法



Webアンケート



時期

2023年度は、1 回限りの調査を実施します（追跡調査なし）。

2024年度からは、5 歳児を開始時点として小学校4年生まで追跡する縦断調査を実施します。

	調査1	調査2				
	5歳児調査	5歳児縦断調査				
	2023年	24年	25年	26年	27年	28年
園長	冬頃 ●	冬頃 ●				
保育者	冬頃 ●	冬頃 ●				
保護者	冬頃 ●	春-夏頃 ●	●	●	●	●
校長			●	●	●	●
担任教員			●	●	●	●

Q&A

どんな調査？

園（就学前教育・保育施設）に通う5歳児（年長児）のお子さん最大15,000名を小学校4年生まで追跡調査し、幼児教育の質がお子さんの成長にどのような影響を与えたかを大規模データから分析し明らかにします。※データは個人が特定されない形で統計的に解析されます。

どうやって調べるの？

Webアンケート調査によって調べます。

全国8地方の大規模・中規模・小規模合わせて46市町村（予定）の域内の園にご協力いただき、以下の方々を対象としたWebアンケート調査を実施します。

- 調査開始時点で園に通う5歳児のお子さんの保護者、最大15,000名
- 上記お子さんの通う園の園長先生、担任の保育者（調査1・調査2の1年目）
- 上記お子さんが進学する小学校の校長先生、担任の先生（調査2の2年目～5年目）

アンケートで何をきくの？

保護者の方と、園/学校の先生とで、お尋ねする項目が異なります。

保護者の方

お子さんの成長、家庭での養育環境などについてお尋ねします。

園の先生

子ども・保育者の人数、幼児教育の実践、労働環境などについてお尋ねします。

学校の先生

学校の幼保小接続の取り組みや学級風土などについてお尋ねします。

個々の園や個人が公表されることはあるの？

アンケートはWeb上で個別に行っていたため、他の人に回答を見られることはありません。また、個々の園や個人が分からないかたちにして集計・解析されますので、調査結果から個々の園や個人が特定されることは一切ありません。

お問い合わせ



東京大学大学院教育学研究科附属 発達保育実践政策学センター (CEDEP)

住所

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 教育学研究科内

調査ページ

https://www.cedep.p.u-tokyo.ac.jp/contact_mext-2023

